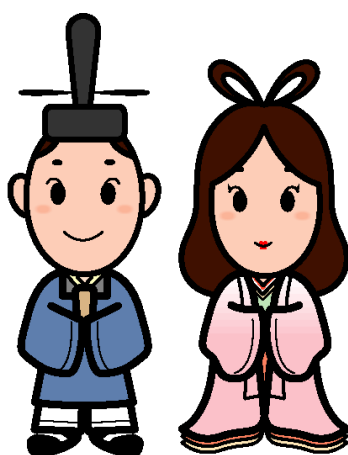


# 大衡村地方創生総合戦略

—みんなで創る 新たな万葉の里 おおいら—

(概要版)



平成28年(2016年)2月

大 衡 村

# 大衡村の「人口ビジョン」

## 大衡村の人口動向の現状

- 国勢調査ベースの総人口は平成 22 年（2010 年）まで減少傾向で推移していましたが、平成 27 年（2015 年）の宮城県推計人口では増加に転じています。
- 年少人口（0～14 歳）比率は昭和 55 年（1980 年）の 22.3%から平成 22 年（2010 年）には 14.3%に減少したのに対し、高齢化率は 10.9%から 24.2%に増加しており、少子高齢化が進行しています。
- 自然動態は平成 22～26 年（2010～2014 年）の 5 年間でマイナス 147 人、社会動態は平成 22～26 年（2010～2014 年）の 5 年間でプラス 377 人となっています。
- 合計特殊出生率は平成 25 年（2013 年）に全国・県を上回る 1.59 となっています。
- 転入元・転出先については、県内の移動が 7 割以上を占めています。

## 大衡村の将来展望

### ○自然減の抑制（合計特殊出生率）

- ・平成 37 年（2025 年）に「1.80」
- ・平成 42 年（2030 年）以降「2.10」を維持

### ○社会増の維持

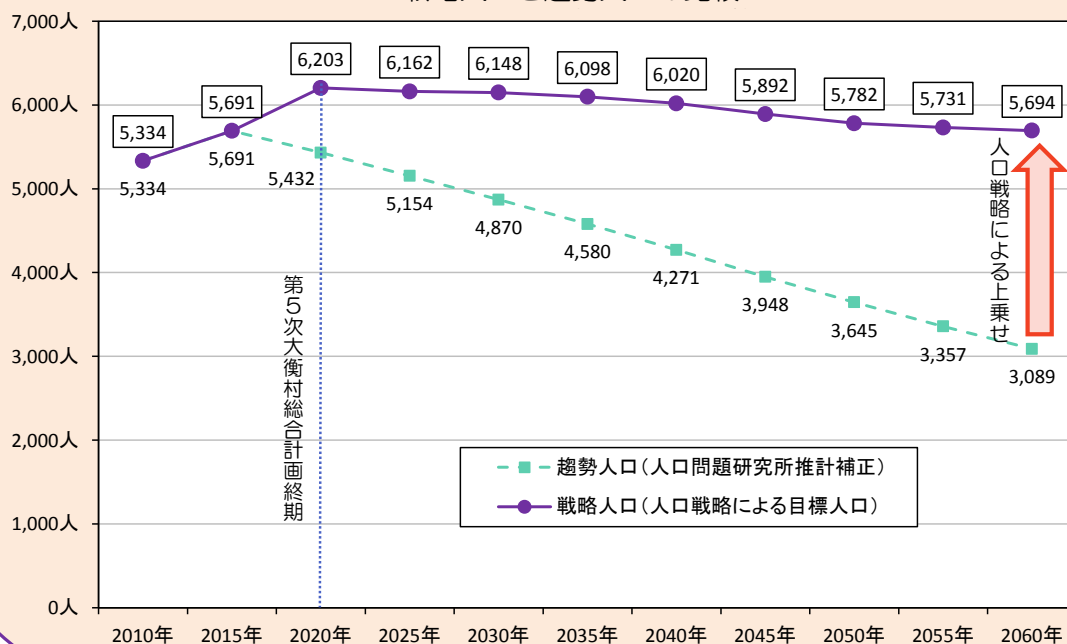
- ・今後も社会増を維持



### <戦略人口>

- ・平成 32 年（2020 年）「6,203 人」
- ・平成 72 年（2060 年）「5,694 人」を維持

戦略人口と趨勢人口の比較

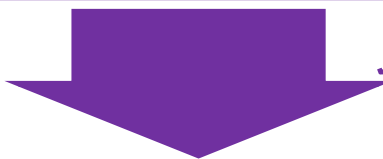
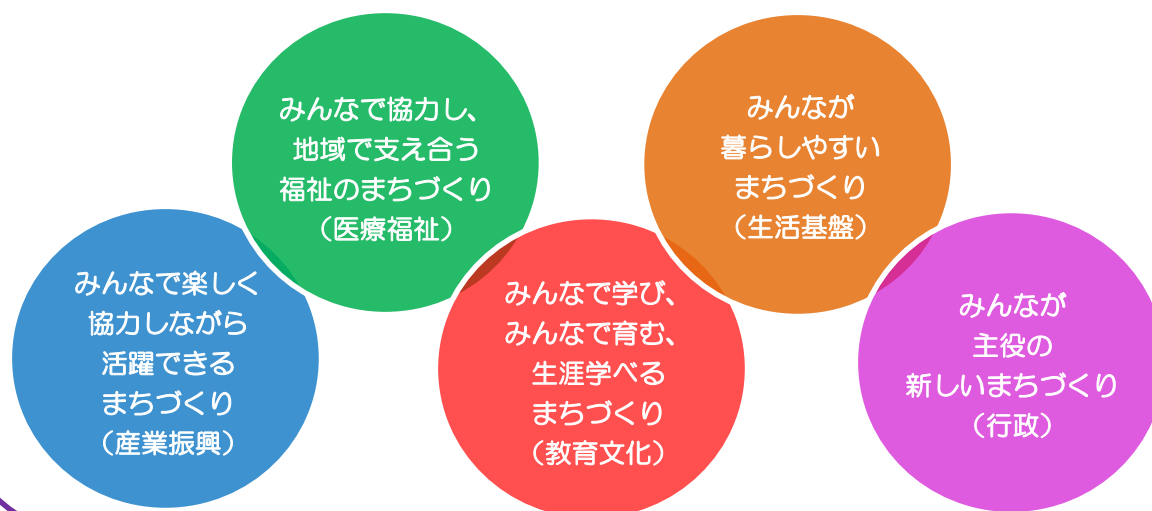


# 大衡村の「総合計画」と「総合戦略」の位置づけ

## 第5次大衡村総合計画

### 【基本理念】

共に育み 共に創り 共に生きる 愛と活力にあふれたまちづくり



国・県の総合戦略も  
勘案

## 総合戦略

基本目標	施策の枠組み
1. 大衡村における安定した雇用を創出する	(1) 人材の育成 (2) 産業の育成 (3) 企業誘致の推進
2. 大衡村への新しいひとの流れを創出する	(1) U・I・Jターンの促進 (2) 住まいの確保 (3) 情報プラットフォームの構築 (4) 観光・集客資源の整備・活用 (5) 地域間交流の振興
3. 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望を実現する	(1) 経済的支援の推進 (2) 子育て環境の整備 (3) 教育の充実
4. 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る	(1) 地域機能の確立 (2) 地域コミュニティの形成 (3) 環境問題への対応 (4) 既存ストックマネジメント

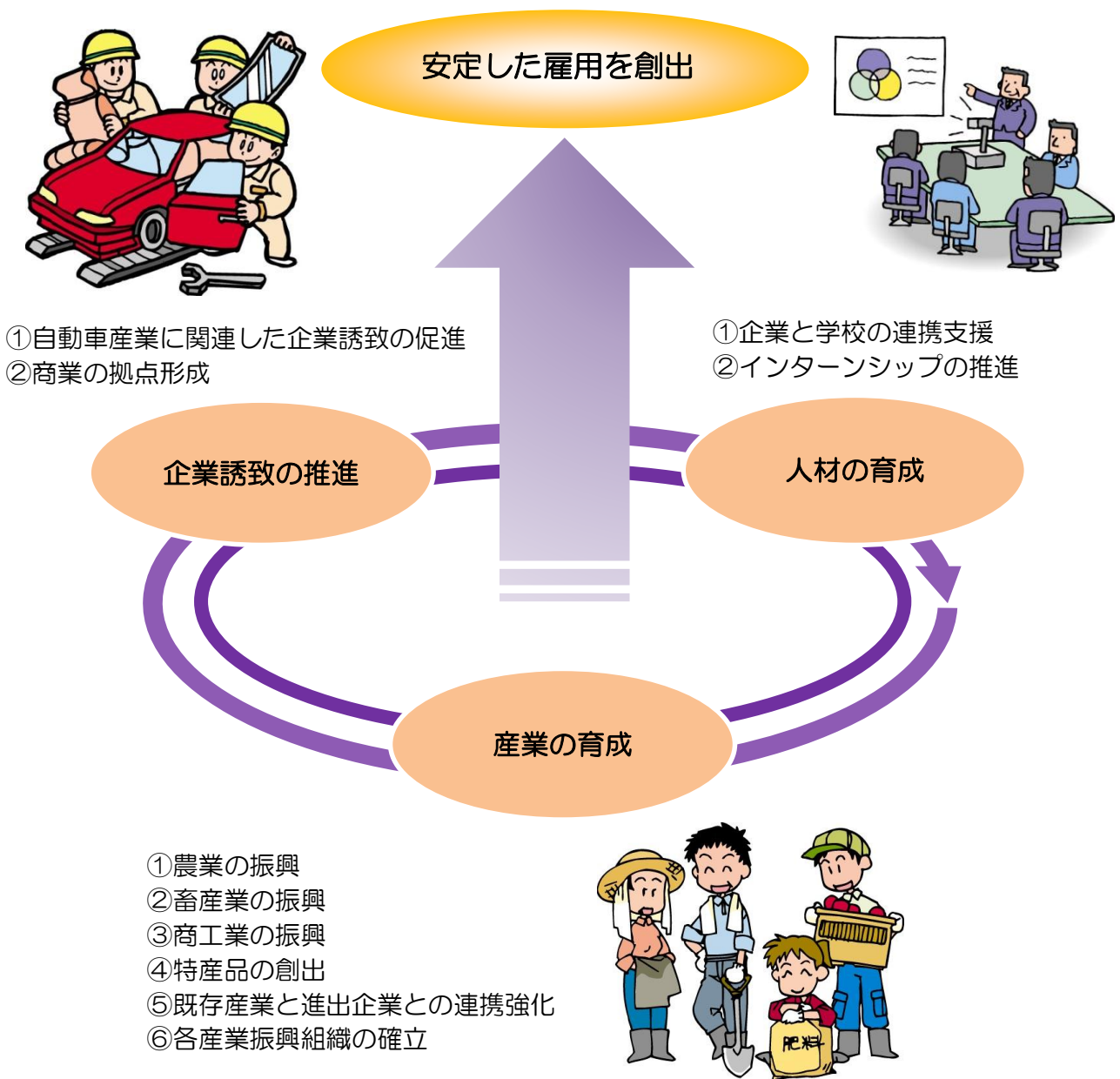
○平成 26 年度（2014 年度）までの過去 5 年間は、総合計画の前期基本計画に基づいたまちづくりにより、人口が増加しています。

○また、総合計画の後期基本計画の計画期間は総合戦略の対象期間と重なります。

○そのため、大衡村の総合戦略は総合計画の取組をさらに推進・拡充するものとして位置づけられます。

# 総合戦略：基本目標 1 大衡村における安定した雇用を創出する

数値目標	新規企業誘致による 村民の雇用創出数	平成 31 年度 30 人（5年間の累積） ※現況値 3 人（平成 26 年度）
基本的方向	1. 大衡村の未来を担う人材を育成するため、企業と学校の連携に対して多様な支援を行い、村内企業への就業を促進します。 2. 農商工等の連携を促進し、技術の高度化や販路拡大等、産業の育成に努めます。 3. 自動車関連企業を中心とした多様な企業誘致を推進します。	



## 具体的な施策・主な取組

具体的な施策	主な取組
<b>(1) 人材の育成</b>	
①企業と学校の連携支援	◇技術指導等による交流の場づくりの推進 <主な既存該当事業> インダストリアルツアー、少年少女発明クラブ
②インターンシップの推進	◇学生のインターンシップ参加の推進
<b>(2) 産業の育成</b>	
①農業の振興	◇若者を中心とした就農意欲の喚起 ◇経営安定による定着化の推進 ◇意欲ある農業生産者の育成 <主な既存該当事業> 水田農業構造改革対策事業、集落営農推進事業（農作業委託推進）、小規模基盤整備事業、青年就農給付金、青年等就農資金貸付
②畜産業の振興	◇繁殖牛の導入や、乳牛改良事業等への支援による畜産農家の経営安定化 ◇稲作農家との連携による飼料作物栽培の推進 <主な既存該当事業> 水田転作飼料作物利用繁殖和牛生産支援事業、肥育素牛販売促進対策事業
③商工業の振興	◇地場産品や特産品の販路拡大・販売促進 ◇制度資金等の活用による経営安定支援 <主な既存該当事業> 中小企業振興資金利子補給金
④特産品の創出	◇農業生産者・農業団体・商工会等との連携による特産品の創出
⑤既存産業と進出企業との連携強化	◇既存産業と進出企業との情報交換等による技術の高度化や販路の拡大
⑥各産業振興組織の確立	◇農商工連携による産業振興のための組織づくり <主な既存該当事業> 農商工連携震災復興モデル創出事業
<b>(3) 企業誘致の推進</b>	
①自動車産業に関連した企業誘致の促進	◇奨励金等を活用した企業誘致の促進 ◇インフラ整備等、企業誘致促進のための条件整備 <主な既存該当事業> 企業立地奨励金、企業立地雇用促進奨励金
②商業の拠点形成	◇国道4号沿いへの商業の拠点となる施設の誘導 <主な既存該当事業> 中心市街地整備事業

## 総合戦略：基本目標2 大衡村への新しいひとの流れを創出する

数値目標	純移動数 (転入-転出)	平成31年 679人(5年間の累積) ※現況値 115人(平成26年)
基本的方向	<ol style="list-style-type: none"> <li>多様な経済的支援等により、若者を中心としたU・I・Jターンを促進します。</li> <li>移住・定住希望者の住まいの確保に向けて、景観・交通環境・防災等を考慮した魅力ある宅地開発を推進します。</li> <li>移住・定住希望者の増加に向けて、大衡村の魅力やライフスタイル等の情報を広く発信します。</li> <li>大衡村の豊かな自然や農産物、各種施設等の多様な資源を活用し、観光客の誘致を図ります。</li> <li>新たな人の流れをつくり出すため、地域間交流の振興に努めます。</li> </ol>	

### 移住・定住の促進

#### <U・I・Jターンの促進>

- ①奨学金返済の減免
- ②若年層への支援の充実
- ③地域おこし協力隊の活用



#### <住まいの確保>

- ①魅力ある住環境整備
- ②村営住宅の整備



#### <情報プラットフォームの構築>

- ①移住・定住相談窓口の充実



### 新しい人の流れを創出

### 観光・交流の振興

#### <観光・集客資源の整備・活用>

- ①観光まちづくりの推進
- ②公園・緑地の充実・適正な維持管理の推進
- ③施設の有効活用によるイベントの開催
- ④森林スポーツ等の推進



#### <地域間交流の振興>

- ①交流推進体制の充実

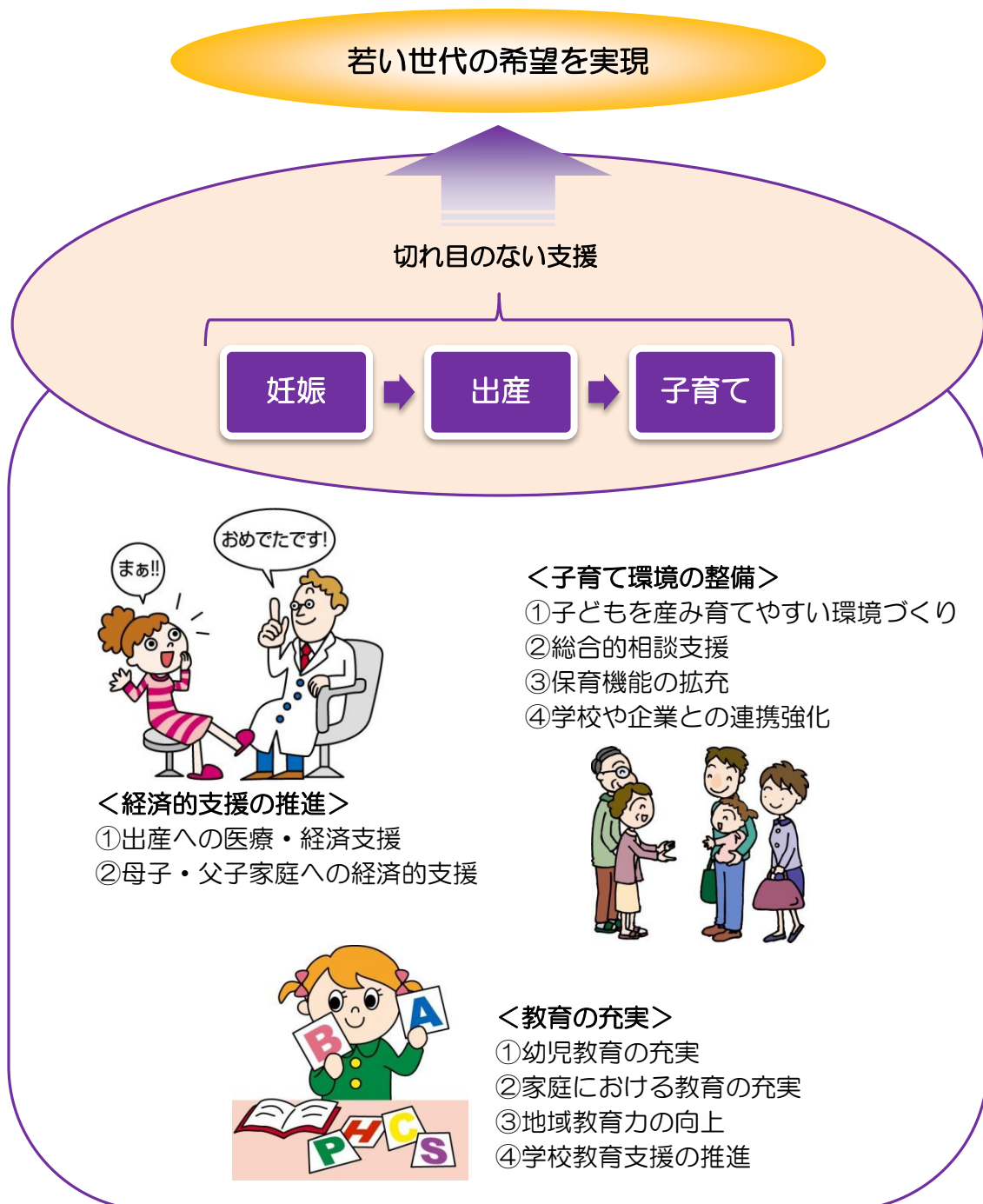


## 具体的な施策・主な取組

具体的な施策	主な取組
<b>(1) U・I・Jターンの促進</b>	
①奨学金返済の減免	◇村内での就職を条件とした奨学金返済の一部減免
②若年層への支援の充実	◇若年層の新築住宅取得者への補助金の加算 ＜既存該当事業＞ 万葉の里・おおひら定住促進事業補助金
③地域おこし協力隊の活用	◇地域おこし協力隊の受け入れの検討
<b>(2) 住まいの確保</b>	
①魅力ある住環境整備	◇地区計画による居住系土地利用の整備・誘導の推進 ＜既存該当事業＞ 塩浪地区住宅団地整備事業
②村営住宅の整備	◇村営住宅の整備による延命化
<b>(3) 情報プラットフォームの構築</b>	
①移住・定住相談窓口の充実	◇ライフスタイルの提案・相談等の一元化
<b>(4) 観光・集客資源の整備・活用</b>	
①観光まちづくりの推進	◇観光振興施策や施設整備の基本指針の策定 ◇地域活性化交流施設の設置
②公園・緑地の充実・適正な維持管理の推進	◇公園長寿命化計画に基づく施設管理
③施設の有効活用によるイベントの開催	◇スポーツ・レクリエーションに関するイベントの開催
④森林スポーツ等の推進	◇森林マラソンや森林浴ウォーク等の実施 ＜既存該当事業＞ 公園施設長寿命化対策事業
<b>(5) 地域間交流の振興</b>	
①交流推進体制の充実	◇広域行政組織の活用促進

# 総合戦略：基本目標3 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望を実現する

数値目標	出生数	平成31年 199人（5年間の累積） ※現況値 51人（平成26年）
基本的方向	1. 子どもを産み・育てることへの不安を軽減するため、経済的支援を推進します。 2. 地域のサポート力の強化・親同士の交流促進・保育施設の機能の拡充等により、安心して子育てができる環境を整備します。 3. 学校教育での学力向上に加え、家庭や地域における教育力の向上に努めます。	





## 具体的な施策・主な取組

具体的な施策	主な取組
<b>(1) 経済的支援の推進</b>	
① 出産への医療・経済支援	◇医療支援をはじめとする多様な経済的支援の充実 <既存該当事業> 万葉すくすく子育てサポート事業、万葉のびのび子育て支援事業、妊婦一般健康診査助成事業、万葉ぱくぱく子育て給食支援事業
② 母子・父子家庭への経済的支援	◇利用者負担（保育料）・水道料等の減免、医療費の助成、母子・父子福祉対策資金の貸付等による経済的な支援の推進 <既存該当事業> 母子・父子家庭医療費助成事業
<b>(2) 子育て環境の整備</b>	
① 子どもを産み育てやすい環境づくり	◇対象者や支援内容の見直し、手続きの簡素化等による支援の充実 ◇子育て支援センター機能の整備を推進 <既存該当事業> 地域子育て支援事業
② 総合的相談支援	◇妊娠期から子育て期の総合的な相談支援の実施
③ 保育機能の拡充	◇一時保育や障害児保育の拡充 ◇預かり保育と保育施設の充実 <既存該当事業> 一時預かり保育事業、障害児保育事業
④ 学校や企業との連携強化	◇学校と職場との連携・協力による相談体制の充実
<b>(3) 教育の充実</b>	
① 幼児教育の充実	◇幼児教育機関への支援
② 家庭における教育の充実	◇親の子育て教育の充実 ◇父親の教育参加による、低年齢児の保育や児童の健全育成等の推進 <既存該当事業> 家庭教育講演会（未就学児保護者）、教育講演会（子どもをもつ保護者）
③ 地域教育力の向上	◇地域と学校等の交流とボランティア育成による地域教育力の向上 <既存該当事業> 協働教育プラットフォーム事業
④ 学校教育支援の推進	◇学力向上の取組の実施

# 総合戦略：基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

<b>数値目標</b>	<b>自主防災組織数</b> (地区単位)	平成 31 年度 14 組織 (5 年間の累積) ※現況値 0 組織 (平成 26 年度)
<b>基本的方向</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消防・防災・交通環境等の整備を推進し、安心・安全な地域機能を確立します。</li> <li>2. 芸術文化・スポーツ等の多様な生涯学習を推進し、地域におけるコミュニティの形成に努めます。</li> <li>3. 緑豊かな恵まれた村土における自然環境や生態系の保全、クリーンなエネルギーの実用化等への取組を推進します。</li> <li>4. 公共施設や空き家等の実態を把握し、適正な既存ストックマネジメントを推進します。</li> </ol>	



### <地域機能の確立>

- ①消防・防災体制の強化
- ②防災施設の充実
- ③道路・交通環境の整備



### <地域コミュニティの形成>

- ①生涯学習のニーズ把握
- ②スポーツ推進委員への支援
- ③芸術文化団体の支援育成

時代に合った  
安全・安心な暮らしを実現

### <環境問題への対応>

- ①新エネルギービジョン等の推進
- ②新エネルギー設備の導入支援
- ③環境に関わる意識の高揚



### <既存ストックマネジメント>

- ①公共施設の適正管理
- ②空き家の実態把握



## 具体的な施策・主な取組

具体的な施策	主な取組
<b>(1) 地域機能の確立</b>	
①消防・防災体制の強化	◇自主防災組織の設置・育成 ◇防災訓練参加促進及び幼年期からの防災教育の促進 ◇防災ハザードマップの見直し
②防災施設の充実	◇老朽化した消火栓やミニバン型消防車等の整備
③道路・交通環境の整備	◇幅員の狭い道路の解消等による道路環境の整備
<b>(2) 地域コミュニティの形成</b>	
①生涯学習のニーズ把握	◇学校・企業・各種団体との連携による生涯学習講座へのニーズの把握
②スポーツ推進委員への支援	◇各種競技人口拡大のためのスポーツ推進委員の活動支援
③芸術文化団体の支援育成	◇大瓜神楽、万葉おどり、和太鼓教室等への支援と後継者の育成
<b>(3) 環境問題への対応</b>	
①新エネルギービジョン等の推進	◇大衡村地域新エネルギービジョン等の具現化を推進 <既存該当事業> 万葉サンサンエネルギー発電普及促進事業、万葉クリーンエネルギーカー導入促進事業、生ごみ分別収集モデル実証事業、廃食用油回収事業、バイオディーゼル燃料導入促進事業
②新エネルギー設備の導入支援	◇新エネルギー普及に向けた設備導入への支援の充実 <既存該当事業> 木質バイオマスボイラー普及促進事業
③環境に関わる意識の高揚	◇エネルギー・環境教育の実践及び普及啓発
<b>(4) 既存ストックマネジメント</b>	
①公共施設の適正管理	◇公共施設等総合管理計画の策定等による施設の適正管理の推進
②空き家の実態把握	◇空き家の実態調査と有効活用や危険な空き家対策の推進

---

---

## 大衡村地方創生総合戦略（概要版）

発行年月：平成 28 年（2016 年）2 月

発 行：大衡村

編 集：大衡村 企画商工課

〒981-3692 宮城県黒川郡大衡村大衡字平林 62 番地

TEL：022-345-5111 FAX：022-345-4853

---

---